

■ 45mm 幅アルミ枠、木扉取付寸法図

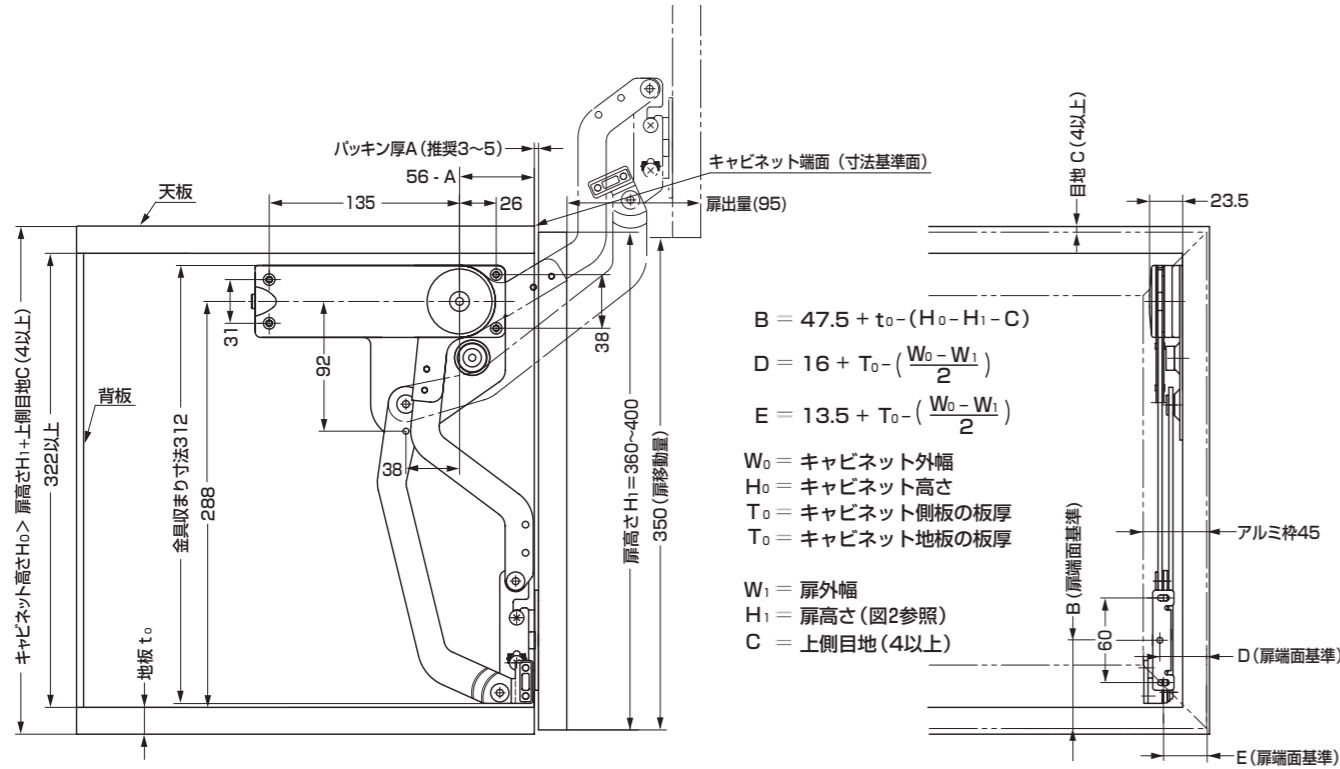


図3. 45mm幅アルミ枠、木扉取付寸法図

$$B = 47.5 + t_0 - (H_0 - H_1 - C)$$

$$D = 16 + T_0 - \left(\frac{W_0 - W_1}{2}\right)$$

$$E = 13.5 + T_0 - \left(\frac{W_0 - W_1}{2}\right)$$

W_0 = キャビネット外幅
 H_0 = キャビネット高さ
 T_0 = キャビネット側板の板厚
 T_0 = キャビネット地板の板厚
 W_1 = 扉外幅
 H_1 = 扉高さ(図2参照)
 C = 上側目地(4以上)

■ 20mm 幅アルミ枠取付寸法図

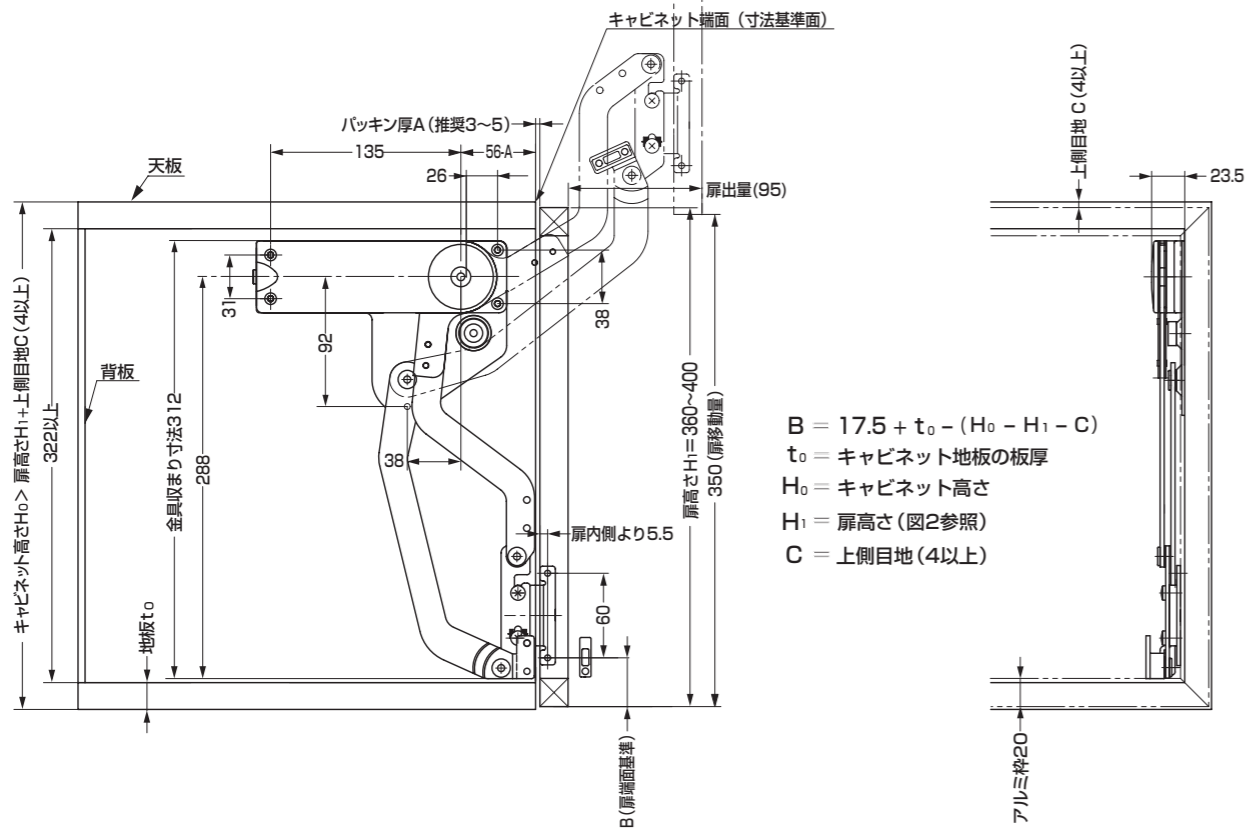


図4. 20mm幅アルミ枠取付寸法図

$$B = 17.5 + t_0 - (H_0 - H_1 - C)$$

t_0 = キャビネット地板の板厚
 H_0 = キャビネット高さ
 H_1 = 扉高さ(図2参照)
 C = 上側目地(4以上)

■ 本体 (SLUH) の取付方法

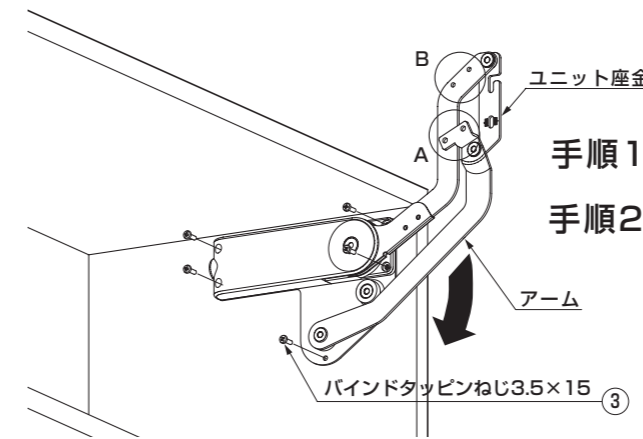


図5. 本体取付図

手順1 SLUH本体①②をキャビネット内側の規定位置に合わせ(取付寸法は図3, 4をご参照ください。)左用、右用ともに付属のバインドタッピンねじ3.5×15③で固定します。(図5.)

手順2 アームおよびユニット座金を持ってゆっくりと矢印の方向に回転させ、ストッパーの厚紙を取り除いてください。

△途中で手を離すと、内蔵されたスプリングでアームが回転してケガをする恐れがあります。また、アームを回転する際は指をはさめようように注意してください。

■ 座金 (SLUH-SZ, SLUH-AZ) の取付方法

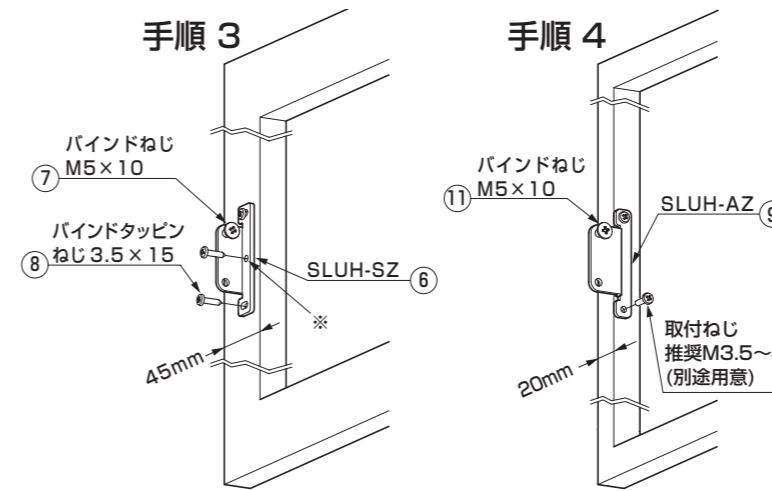


図6. 座金 (SLUH-SZ) 取付図 (45mm幅アルミ枠、木扉)

図7. 座金 (SLUH-AZ) 取付図 (20mm幅アルミ枠)

●座金 SLUH-SZ(45mm幅アルミ枠、木扉) を使用する場合

手順3 SLUH-SZ⑥を扉裏面の規定位置(図3.参照)に、付属のバインドタッピンねじ3.5×15⑧で確実に固定します。(図6.) 扉に取り付けた座金の側面にバインドねじM5×10⑦を左右ともに仮止めします。(図6.)

SLUH-SZ⑥を使用する場合、はじめに長穴のみを固定し、横方向の位置が確定後に丸穴※を固定します。

●座金 SLUH-AZ(20mm幅アルミ枠) を使用する場合

手順4 SLUH-AZ⑨を扉裏面の規定位置(図4.参照)に取り付けます。取付ねじは付属しておりませんので別途ご用意ください。(推奨M3.5~4)

ご用意いただいた取付ねじで確実に固定してください。(図7.) 扉に取り付けた座金の側面にバインドねじM5×10⑪を左右ともに仮止めします。(図7.)

●座金 SLUH-SZ,SLUH-AZ 共通

手順5 SLUH本体のユニット座金の切り欠きに手順3または手順4でSLUH-SZまたはSLUH-AZに仮止めしたバインドねじ⑦⑪を引っ掛けます。(図8.)

はめ込んだ後にもう一方のねじが取り付けられるように角度を合わせます。(図8.)

手順6 扉をはめ込んだ後、ユニット座金の長穴側からSLUH-SZ、SLUH-AZの下側ねじ穴にバインドねじM5×10⑦⑪で左右ともに取り付けます。(図8.)

扉高さ方向調節を行い、バインドねじM5×10⑦⑪左右各2本を確実に締め込み固定します。

(SLUH-AZ⑨を使用する場合は、必要に応じてプレート⑩をはさみ込みユニット座金に取り付けることで横方向の調整を行います。) →次項をご参照ください。

手順7 アームのA部分に連動バー⑤を付属のトラスタッピンねじ4.5×12④で確実に固定します。

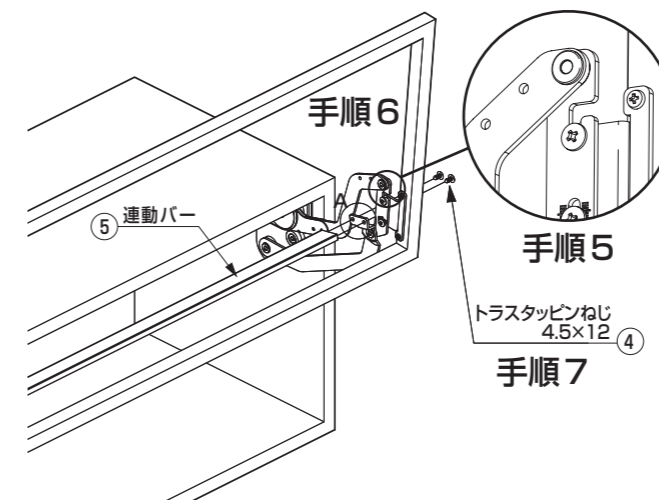


図8. 20mm幅アルミ枠取付図 (45mm幅アルミ枠、木扉も同様の作業を行います。)